

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 28日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県丸亀市中津町1515

氏 名 オー・エル・エス有限会社

代表取締役社長 熊谷 孝

電話番号 0877-56-1183



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸亀工場
事業場の所在地	香川県丸亀市中津町1515
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	470万㎡/年 (偏光フィルム) 590万㎡/年 (偏光フィルム2次加工)
③ 従業員数	173名 (2024年 4月 1日 現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製造工程 ↓ 弊社、産業廃棄物一時保管 ↓ 産業廃棄物処理業者にて収集・運搬、中間処理、処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 代表取締役 社長

事業所環境責任者 代表取締役 専務

管理責任者 製造部環境安全担当 係長 1名

管理担当者 製造部設備管理T 係長 1名

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	炭酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず
	排出量	1,100.45	185.85	5.70	1.46	0.66	0.12	0.09
(これまでに実施した取組)								
・リサイクル可能な品目(廃プラスチック)を増やし排出量の削減に努めています。 ⇒前年度は、新たなリサイクル可能なフィルムはありませんでした。								
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	炭酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず
	排出量	1,300.00	200.00	6.00	2.00	1.00	0.20	0.30
(今後実施する予定の取組) ・今年度は、生産量の増加が見込まれている為、廃棄物の排出量も増える予想しています。 ・製造トラブルを削減させることにより、ロスを削減させる努力をしています。 ・汚泥については、本年度で処理装置に溜まった汚泥を引き抜くため、増加の見込みとなっています。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木屑⇒リサイクル可能な木屑とリサイクルの難しい木屑を分別している。 ・廃プラスチック⇒単一素材のフィルムロス(リサイクル)と積層されたフィルムロス(産業廃棄物)を分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・新たな廃棄物については、リサイクルの可能性を必ず考慮します。

【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組)								
①現状								

【目標】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組)								
②計画								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
(これまでに実施した取組)								
①現状								

【目標】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組)								
②計画								

オー・エル・エス有限会社

【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
①現状								
(これまでに実施した取組)								
【目標】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
②計画								
(今後実施する予定の取組)								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
【前年度(令和5年度)実績】								単位:t
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
全処理委託量	1,100.45	185.85	5.70	1.46	0.66	0.12	0.09	
優良認定処理業者への処理委託量	1,100.45	185.85	5.70	1.46	0.66	0.12	0.09	
再生利用業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
①現状								
(これまでに実施した取組)								
・特に無し								

(第5面)

オー・エル・エス有限会社

【目標】		単位:t						
産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	混合廃棄物	汚泥	廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
全処理委託量	1,300.00	200.00	6.00	2.00	1.00	0.20	0.30	
優良認定処理業者への処理	1,300.00	200.00	6.00	2.00	1.00	0.20	0.30	
再生利用業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
(今後実施する予定の取組)								
・本年度は、生産量が若干増加することがみ込まれております。 よって、廃棄物の排出量も昨年度に比べて増加すると思われます。								
・今後も、廃棄物の削減に於いては努力していきます。								
※事務処理欄								

